

A&A エーアンドエー株式会社 <https://www.aanda.co.jp>

お問い合わせ窓口

[製品購入]

一般の方 : market@aanda.co.jp
販売店の方 : aa_sl-team@aanda.co.jp

[セミナー]

セミナー事務局 : training@aanda.co.jp

[イベント]

イベント事務局 : events@aanda.co.jp

[教育支援プログラム-OASIS]

OASIS事務局 : oasis@aanda.co.jp

[BIM]

プロダクトマーケティング課 : bim@aanda.co.jp

VECTORWORKS® 2022

ガイドブック



Asian Institute of Chartered Banks | Courtesy of GDP Architects SDN BHD and Adaptus Design System SDN BHD

Vectorworks, RenderworksとMiniCADはVectorworks,Inc.の登録商標です。Braceworks, SmartCursorとVectorScriptはVectorworks,Inc.の商標です。Vision SoftwareとConnectCADはVectorworks,Inc.の製品です。すべての権利はVectorworks,Inc.が保有しています。Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac, macOS, MacPro, MacBook Pro, Mac mini, iMac, iPad, iPhoneは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。その他記載されている会社名、および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージはVectorworks Design Suiteを使用し、一部、画像処理を行っているものが含まれています。製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。

「Vectorworks」は、2D、3D、データベース、高品質レンダリングなど豊富な機能を搭載した設計・デザインのためのワンストップアプリケーションです。

基本機能

2D作図、3Dモデリング、レンダリング機能が標準機能として搭載。



作図管理

クラスとレイヤで建具や寸法線、各階など個別管理。表示切替可能。



専門分野別のラインアップにより、建築・インテリア、造園・外構、舞台照明の設計業務をさらに効率化します。

専門機能

「建築」「造園」そして「舞台照明」の3つの専門分野向け製品を用意。

建築・インテリアデザイン



造園・外構



舞台照明



保守契約



操作でお困りな点や新機能の使い方、次期バージョンへ無償アップなど。



2D作図・3Dモデリング・レンダリングの基本機能をベースとして用途や業種によって専門ツールを搭載した5つのパッケージをご用意しています。

▼ Vectorworksシリーズの基本製品

Vectorworks Fundamentals 2022

ベクターワークス ファンダメンタルズ

汎用2D作図、3Dモデリング、レンダリング、プレゼンテーションボード作成機能、図面と連動できる表計算機能を搭載したVectorworksシリーズの基本製品です。

-主な搭載機能-



▼ BIM対応の建築設計、インテリアデザイン

Vectorworks Architect 2022

ベクターワークス アーキテクト

BIM対応の建築設計、インテリアデザイン支援機能を搭載した建築/内装業向け製品です。専門ツールに加え、拡張機能、建築向けのデータライブラリも搭載しています。

-主な搭載機能-



▼ 都市計画・ランドスケープデザイン

Vectorworks Landmark 2022

ベクターワークス ランドマーク

地形モデルや多彩な植栽、灌漑設備計画に対応するランドスケープデザイン支援機能を搭載した都市計画・造園業界向け製品です。専門ツールに加え、拡張機能、造園向けのデータライブラリも搭載しています。

-主な搭載機能-



▼ ステージデザイン・舞台照明計画

Vectorworks Spotlight 2022

ベクターワークス スポットライト

ステージプランニングやライティング計画に対応したエンタテインメント業界向け製品です。舞台照明計画支援機能に加え、各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器などの豊富なデータライブラリを収録しています。

-主な搭載機能-



▼ 全ての機能を搭載したVectorworks最上位製品

Vectorworks Design Suite 2022

ベクターワークス デザインスイート

汎用2D作図、3Dモデリング機能、レンダリング機能に加え、Architect/Landmark/Spotlightに搭載している全ての機能を利用することができるVectorworks最上位製品です。

※Vectorworks 2022より「Vectorworks Designer」は「Vectorworks Design Suite」に名称変更しました。

-主な搭載機能-

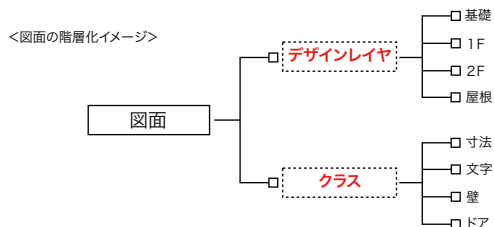


製品グレード	製品名	2D作図	3Dモデル	レンダリング	ワークシート	専門ツール
基本製品	Vectorworks Fundamentals	○	○	○	○	—
建築設計 インテリアデザイン	Vectorworks Architect	○	○	○	○	A
都市計画 ランドスケープ	Vectorworks Landmark	○	○	○	○	L
舞台照明 ステージプランニング	Vectorworks Spotlight	○	○	○	○	S
最上位製品	Vectorworks Design Suite	○	○	○	○	A L S

※Fundamentalsにはサブスクリプションライセンスはございません。Vectorworksサブスクリプションについては、p.14をご覧ください。
※各製品の価格、型番については、p.38をご覧ください。

図面を階層化する

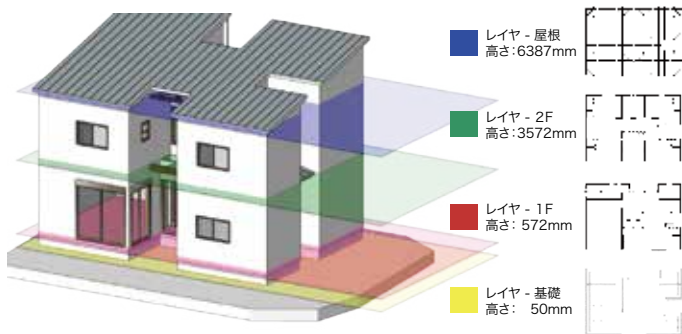
Vectorworksは、図面を管理するための機能として、『デザインレイヤ』と『クラス』があります。



□デザインレイヤの役割について

デザインレイヤは、手描きの際に使うトレーシングペーパーに相当し、クラスはAutoCADの画層に相当します。すべての図面は、デザインレイヤおよびクラスが割り当てられています。また、デザインレイヤとクラスは、図形の表示設定を制御するために使用できますので、現在アクティブなデザインレイヤとクラスを表示し、他のデザインレイヤとクラスを表示、非表示、またはグレイ表示に設定できます。表示、選択、描画、共有、印刷、プレゼンテーションに適したレイヤとクラスを選択することができ、1つのファイルを多くの目的で使用できるようになります。

<デザインレイヤの活用例>



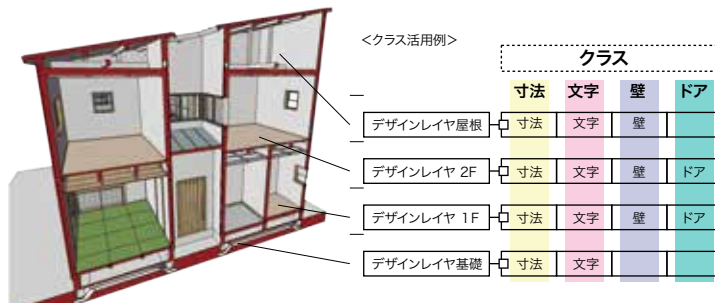
<デザインレイヤ_高さ設定>

階層	デザインレイヤ名	高さ	単位	表示	レイヤタイプ	色
0	基礎	50	mm	表示	基礎	黄色
1	1F	572	mm	表示	1F	赤色
2	2F	3572	mm	表示	2F	緑色
3	屋根	6387	mm	表示	屋根	青色

デザインレイヤは高さ設定ができます。例えば、基礎、1F、2F、屋根を高さ設定をした各レイヤに配置すると任意のデザインレイヤ部分を表示できるだけでなく、全てのデザインレイヤを3Dで統合して、完成した家の図形を作成できます。

□クラスの役割について

クラスはカテゴリに応じて図面内の要素を階層化できる方法です。クラスはレイヤに関係なく、1つのファイル全体に適用され、デザインレイヤをまたいで機能するため、異なるデザインレイヤ上に配置された同類のオブジェクトをグループ化して管理できます。



新しい図面を作成するたびに、寸法と一般の2つのクラスが自動的に作成されます。一般はデフォルトのアクティブクラスです。クラスを使用するとグラフィック属性やテキストチャ、文字スタイルを図形に割り当てることができます。

Vectorworksのクラスは、AutoCADの画層に相当する機能であり、図面をAutoCADに取り出す場合は、AutoCADの画層として取り出されます。

クラス名をハイフンで区切った部分(最大で4)からなる複合的な名前を付けて、階層構造を構築できますので、必要に応じて各レベルを展開したり折りたたんだりできます。(右のイメージ)



オーガナイザダイアログボックス

図面の階層化要素の作成と管理は、オーガナイザダイアログボックスを使用して行います。クラスやデザインレイヤの管理、編集だけでなく、シートレイヤ、ビューポート、ストーリー、登録画面、ファイル参照などの管理、編集も行えます。※ストーリーはArchitect製品で利用可能です。



←構造化したデザインレイヤ、複雑化したクラス設定の管理が可能です。

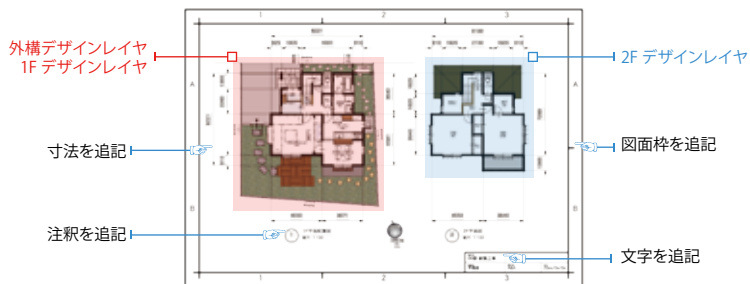
Architect・Landmark・Spotlight、およびDesign Suiteの場合、ナビゲーションパレットが利用できるため、作業パレットから図面の階層化を管理できます。

シートレイヤを活用してプレゼンテーションシートを作成しよう

Vectorworksは、2種類のレイヤを搭載しており、デザインレイヤの他にシートレイヤと呼ばれるレイヤがあります。デザインレイヤは、実際の作図を行うレイヤであるのに対して、**シートレイヤはプレゼンテーション用の資料作成に使用するレイヤです。**

シートレイヤ

仕上がった図面のプレゼンテーション用シート
デザインレイヤの図形を自由に配置、注釈、追記が可能。



シートレイヤは、デザインレイヤ上で実際の作図を行い、ビューポート※を経由してシートレイヤに作図した成果を配置して使用します。デザインレイヤは、任意の縮尺を設定して作図作業を行います。シートレイヤは常に「1:1」の縮尺です。



1枚のシートレイヤに、平面図/立面図/外観パースをまとめて配置することも可能です。また、異なる縮尺の平面図を並べてより詳細な部分を確認するような図面資料も作成できます。

※ビューポート
デザインレイヤ上の図形を参照する窓のようなもの。
参照元の図形に変更があるとビューポートも変更が反映されます。

各種ビューポート

ビューポートには種類があり、Vectorworksシリーズによって使用できるものが異なります。各ビューポートの機能詳細は、総合カタログまたは、ホームページをご覧ください。

- (1) Vectorworks全シリーズで可能
 - シートレイヤビューポート
- (2) Vectorworks Architect / Landmark / Spotlight / Design Suiteで可能
 - デザインレイヤビューポート
 - 断面ビューポート(水平断面ビューポート)
 - 詳細ビューポート
 - 投影図ビューポート
- (3) Vectorworks Architect / Design Suite で可能
 - 室内展開図ビューポート

シートレイヤでレンダリングをバックグラウンド処理


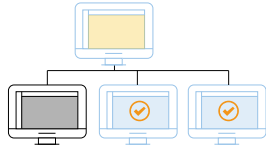
シートレイヤビューポートは、作業中にバックグラウンド処理でレンダリングが可能となり、オブジェクト情報パレットからレンダリング設定を変更することができます。



[製品タイプ] スタンドアロン版とネットワーク版

ご利用の環境、運用状況にあわせて、スタンドアロン版とネットワーク版の2種類の製品タイプからお選びいただけます。

ネットワーク版のサーバーの認証方式はアクティベーションタイプ(インターネット接続必須)になります。
※ドングルタイプをご希望の場合はネットワーク版 認証用USBドングル(11,000円(税込))の購入が必要です。

	スタンドアロン版	ネットワーク版
製品タイプ		
インストール可能台数	1ライセンスで2台のパソコンにインストール可能 ※同時起動はできません	インストール台数の制限なし ※同時稼働ライセンス数をサーバーで管理
起動認証	インターネット経由のアクティベーション ※90日間はネットワークから切り離して利用可能	同一LAN内のサーバー用コンピューターでの認証 ※最長30日間のライセンス持ち出し機能が利用可能
ライセンス管理方法	インストールするパソコンごとにライセンス管理	サーバーでライセンス一括管理
その他	・インターネット接続が必須 ・正式シリアル発行は、ユーザー登録が必須	インターネット経由のアクティベーション 変更
購入単位	1ライセンスから購入可能	5ライセンスから購入可能 ※追加ライセンスは1本から購入可能 変更
利用シーン	・オフィスと外出用パソコンの2台持ちで利用したい ・リモートワーク ・SOHOなどの個人事業主	・複数の部署間で共同利用 ・サーバーで全ライセンスを管理したい ・学校のパソコン教室など

※インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードして入手いただけます。
※スタンドアロン版は、永続ライセンスとサブスクリプションライセンスがございます。サブスクリプションライセンスについては、p.14をご覧ください。
※各製品の価格、型番については、p.38をご覧ください。

モジュール製品について

モジュール製品はご利用中のVectorworksを上位製品にグレードアップすることができます。
※Vectorworksが旧バージョンの場合は、バージョンアップも必要です。

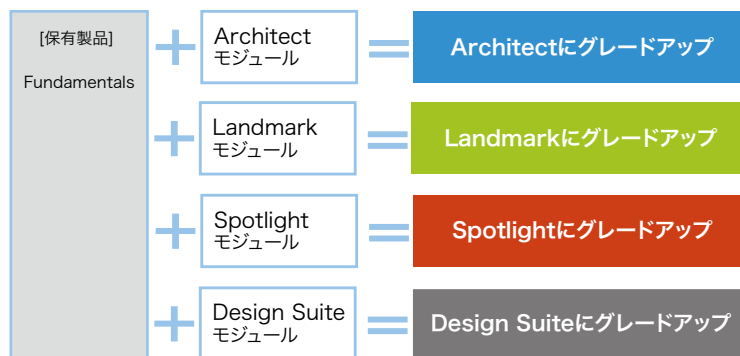


Fundamentalsユーザー

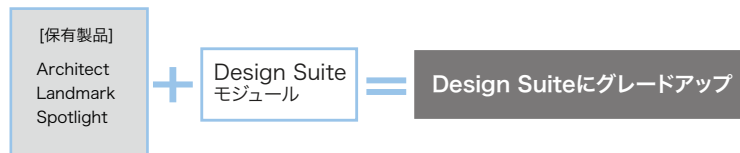


- ・壁ツールやスラブツール等の専用ツールで建築モデリングしたい
- ・エクステリアのデータ、植栽添景ライブラリを使用したい
- ・メーカー製の照明機材や音響器具データを使用したい

Fundamentalsから各上位製品にグレードアップできます。



中間グレード製品から最上位製品にグレードアップできます。



※Vectorworksサブスクリプションにはモジュール製品を追加することはできません。

お持ちの製品を最新版に

Vectorworks 2019 / 2020 / 2021 をお持ちのユーザー様は、バージョンアップ価格で最新バージョンの2022に移行することができます。
バージョンアップサービスの詳細はバージョンアップサイトをご参照ください。バージョンアップの申込書は、A&Aカスタマーサポートまでご請求ください。



バージョンアップ価格について

現在お持ちのVectorworksシリーズ、バージョンによってバージョンアップ価格が異なります。
バージョンアップサイトの料金一覧を参照ください。

<https://www.aanda.co.jp/2022up/price.html>

バージョンアップと同時にService Select 契約もできます。

バージョンアップで最新版に移行と同時にService Select 新規契約をすることで、次年度以降からService Select 更新料金だけで、毎年、最新バージョンをご利用いただくことができます。



Vectorworks 2019シリーズは、2022年がバージョンアップ最後

開発元のバージョンアップポリシーにより、最新バージョンから3バージョン前までの製品がバージョンアップの対象です。このため、**バージョン2019をご利用の方は、2022年がバージョンアップのできる最終年です。**バージョンアップサービスをご検討の方は、お早めにご利用ください。



Vectorworks 2022 バージョンアップサイト: <https://www.aanda.co.jp/2022up/>

バージョンアップに関するよくあるご質問

- **バージョンアップ期間はいつまでですか。**
2022年1月14日～2022年12月9日 お申し込み分までとなります。
- **バージョンアップができる対象のバージョンを教えてください。**
最新バージョンから3バージョン下までの製品「2019 / 2020 / 2021」がバージョンアップの対象となります。
2018以下の場合はバージョンアップできませんので、最新版を新規にご購入ください。
- **バージョンアップ申込書はダウンロードできますか。**
できません。申込書は発行依頼が必要です。
- **バージョンアップ後も、バージョンアップ前のVectorworksを使用できますか。**
バージョンアップ後は、バージョンアップ前のVectorworksの使用権はなくなりませんので、ご利用いただけません。
なお、Vectorworks Service Select 契約者様は契約特典として「旧バージョンの使用許諾」が付与されますので、バージョンアップ前のバージョン（最新+過去3バージョン+過去保持履歴のあるバージョン）をご利用いただけます。
- **所有ライセンスの一部だけのバージョンアップを希望しています。2回に分けての申し込みはできますか。**
可能です。スタンドアロン版の場合は「1ライセンス」から、ネットワーク版の場合は「Fundamentals 2ライセンス」からお申し込みいただけます。なお、モジュール製品のみバージョンアップはできません。
- **バージョンアップと同時に、上位製品に変更することはできますか。**
可能です。スタンドアロン版、ネットワーク版、共にモジュールの追加購入で上位製品に変更することができます。
- **Vectorworksをバージョンアップしましたが、プラグインソフトもバージョンアップが必要ですか。**
バージョン2022へバージョンアップ後、ご利用の各種プラグインによっては使用できなくなりバージョンアップや再購入が必要となる製品がございます。
- **申し込み前にVectorworksを試用したい。**
30日間、無償でご利用いただける「Vectorworks 評価版」をお申し込みください。
https://www.aanda.co.jp/Vectorworks2022/demo_index.html
 - ・評価版は「Design Suite」のみになります。
 - ・インストールしたVectorworks 評価版は、製品購入後に正規のシリアル番号を入力し直すことで、そのままご利用いただけます。
 - ・ご利用中のパソコンでVectorworksが動作するかは事前にVectorworksの推奨動作環境にてご確認ください。

「必要なときに」「必要な種類」「必要な期間ライセンス」をご利用いただけます。

年間サブスクリプションは、1年間ライセンスを維持するための費用対効果の高い方法です。トークンを1つ購入して使用すると、ライセンスは12か月間有効になります。年間サブスクリプションは1年後に自動的に終了しますが、トークンを追加することでいつでも簡単に延長できます。必要なときに、必要な種類のライセンスをお求めいただける「期間利用ライセンス」のプランです。

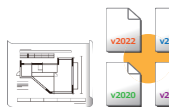
■期間限定プロジェクトでの利用が可能

サブスクリプションライセンスは「期間利用のライセンス」です。プロジェクトでスタッフを一時的に増員し、Vectorworksを利用しなければならないときなどに有効です。コストを抑えながらの導入が可能で、必要なときに必要な種類のライセンスをお求めいただけます。



■製品バージョンを選んで利用が可能

プロジェクトや取引先に合わせて、Vectorworksの最新バージョンから3つ前のバージョンまでの内1つのバージョンを選んで利用が可能です。



■永続とサブスクリプションを組み合わせた導入が可能

Vectorworksの永続ライセンスは引き続きご提供します。短期利用を目的としたサブスクリプションライセンスと組み合わせることで、お客様のご利用プランやシーンに合わせて導入が可能です。



Architect、Landmark、Spotlight、Design Suiteの4つのプロダクト製品にサブスクリプションライセンスをご用意しています。(Fundamentalsのサブスクリプションライセンスのご提供はございません)

業種	建築設計や内装、ディスプレイデザイン	造園、都市計画、ランドスケープデザイン	舞台照明計画やステージプランニング	最上位製品 (全機能搭載)
製品	Vectorworks Architect サブスクリプション (1年間)	Vectorworks Landmark サブスクリプション (1年間)	Vectorworks Spotlight サブスクリプション (1年間)	Vectorworks Design Suite サブスクリプション (1年間)
搭載機能	2D 作図	○	○	○
	3D モデル	○	○	○
	レンダリング	○	○	○
専門ツール	建築設計支援機能	造園設計支援機能	舞台照明設計支援機能	全支援機能
利用期間	1年間 (12か月) ※トークンの入力によるシリアル取得日から1年間			
製品タイプ	スタンドアロン版 ※パソコン2台インストール可能。ただし、同時稼働は1台のみ			
機能・動作環境	永続ライセンスと同じ Vectorworks 2022 動作環境と同じ			
サポート	ライセンスを有効化してから30日間 (カスタマーポータル経由のWebメールのみ) 年間保守契約 (Service Select 契約) による技術サポートは「永続ライセンス」での提供のみとなります。			
利用可能な Vectorworks	Vectorworks バージョン：2019、2020、2021、2022、2023 + 過去保持履歴のあるバージョン (2023はサブスクリプションライセンスの使用期間内にリリースされた場合に提供されます。) Vectorworks カスタマーポータルから旧バージョンのシリアル番号を取得できます。			

サブスクリプションライセンスと永続ライセンスの主な違い

種類	サブスクリプションライセンス	永続ライセンスのみ	永続ライセンス + 保守付き	
利用期間	1年間 (12か月)	永続	永続	
ライセンスタイプ	スタンドアロン版	スタンドアロン版 ネットワーク版	スタンドアロン版 ネットワーク版	
Vectorworks Cloud Services	契約ユーザー権限 ストレージ容量 20GB など	一般ユーザー権限 ストレージ容量 2GB など	契約ユーザー権限 ストレージ容量 20GB など	
標準価格 (税別)	Architect Landmark Spotlight	490,600 円	524,700 円*	
	Design Suite	612,700 円	655,600 円*	
		306,350 円		
バージョンアップ	無償 (ライセンス期限内)	有償 (対象は3バージョン前まで)	無償 (保守契約期間中)	
使用可能バージョン	最新 + 過去3バージョン + 過去保持履歴のあるバージョン メリット	保有している最新バージョンのみ	最新 + 過去3バージョン + 過去保持履歴のあるバージョン	
サポート	期間	ライセンス有効化から30日	ユーザー登録から30日	
	対象バージョン	最新バージョンのみ	保有している最新バージョンのみ	最新 + 過去3バージョン
	窓口	カスタマーポータル	電話/メール	専用電話/メール カスタマーポータル

*価格は Service Select パッケージ製品

※ SimTread (→p.35) は、Vectorworks サブスクリプションではご利用いただけません。

サブスクリプションライセンスに関するよくあるご質問

- サブスクリプションライセンスと永続ライセンスどちらを買ったほうがお得ですか。
1年間の短期間利用の場合、サブスクリプションライセンスが価格的には安価となります。ただし、最新+過去3バージョン+過去保持履歴のあるバージョンを利用できるサブスクリプションと、購入当時のバージョンを利用する永続ライセンスでは、ご提供サービスが異なりますので、「常に最新バージョンを利用」「旧バージョンも併用」「テクニカルサポートを利用」などのご提供サービスの差を比べてご検討ください。
- サブスクリプションライセンスの使用可能なVectorworks/バージョンは何ですか。
最新バージョン+過去3バージョンのうち、いずれかのバージョンを使用できます。使用中に新しいバージョンが発売された場合は、最新バージョン+過去4バージョンが使用可能対象のバージョンになります。(過去保持履歴のあるバージョンも使用可能)
- サブスクリプションライセンスはどうやってライセンスの使用を開始できますか。
書面での納品となります。封入された書面に「トークン」と呼ばれる番号が記載されています。Vectorworks カスタマーポータル上でトークン番号を入力すると、有効なサブスクリプションライセンスのシリアル番号とプログラムをダウンロードできます。書面出荷と同日に申込書に記載いただいたご購入ユーザー様宛にemailでトークンのご連絡をしますので、書面の納品前にライセンスの利用開始が可能です。
- 使用したライセンスの途中解約、返品はできませんか。
使用の有無にかかわらず途中解約や返品は承っておりません。
- サブスクリプションライセンス複数年分まとめて購入できますか。
最長3年分をまとめてご購入いただくことができます。3年分をまとめて購入したい場合は、Vectorworksの同じプロダクトのトークンを3つ購入し、Vectorworksカスタマーポータルにてトークンの有効期限内に延長処理を行ってください。ライセンスの使用期限とトークンの有効期限は異なりますのでご注意ください。

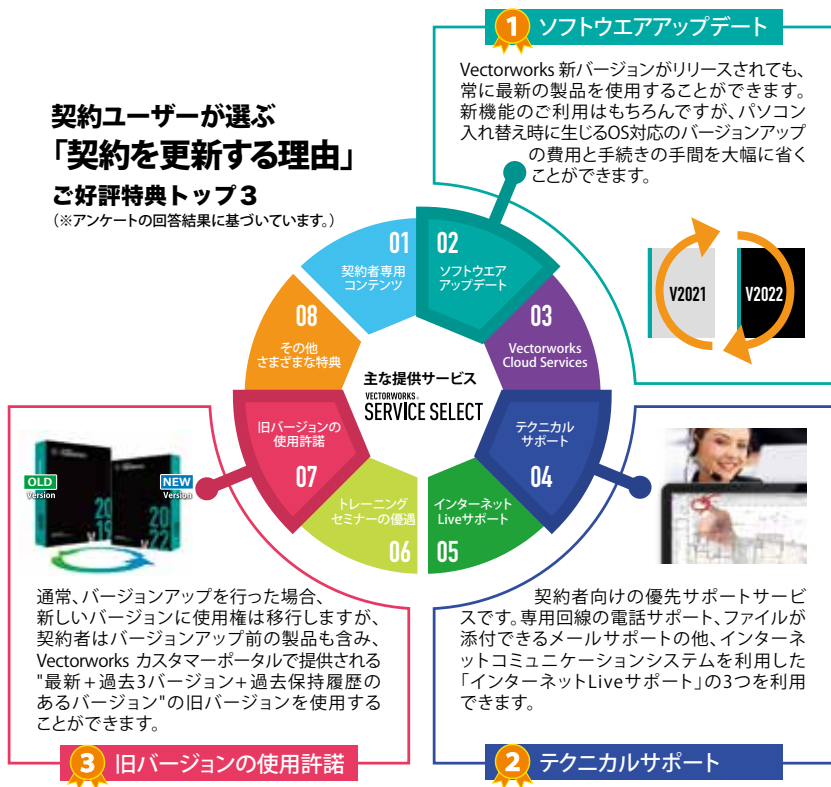
VECTORWORKS®
SERVICE SELECT

Vectorworks Service Select (以下 Service Select) は、Vectorworks ご利用ユーザーのための年間保守サービスです。契約期間中、Vectorworks カスタマーポータルにて、最新バージョン(無償)が提供されます。また、専用のテクニカルサポート電話回線、インターネット Live サポート、クラウドサービス、割引価格でのトレーニングなど、さまざまなサービスを提供します。

契約ユーザーが選ぶ
「契約を更新する理由」

ご好評特典トップ3

(※アンケートの回答結果に基づいています。)



一般ユーザーとのサービス内容比較

	契約者	一般ユーザー
01	契約者専用コンテンツ	×
02	ソフトウェアアップデート	新バージョンを無償提供
03	Vectorworks Cloud Services	● [2GB] 一部制限があります
04	テクニカルサポート	契約者専用電話・email ユーザー登録から30日間のみ電話・email
05	インターネットLiveサポート	×
06	トレーニングセミナーの優遇	割引価格 通常価格
07	旧バージョンの使用許諾	×
08	その他さまざまな特典	×

最新+過去3バージョン+過去保持履歴のあるバージョン サービスアップ
一部プラグインの利用が可能

バージョンアップと比べるとどれくらいお得なの？

	1年目 新規契約	+	2年目 契約更新	+	3年目 契約更新	=	合計の 契約費用	3年後 バージョンアップ金額
D	134,200円	+	134,200円	+	134,200円	=	402,600円	459,800円
A	107,800円	+	107,800円	+	107,800円	=	323,400円	368,500円
L	107,800円	+	107,800円	+	107,800円	=	323,400円	368,500円
S	107,800円	+	107,800円	+	107,800円	=	323,400円	368,500円
F	81,400円	+	81,400円	+	81,400円	=	244,200円	277,200円

User's Voice

- ・バージョンアップより安価でコストパフォーマンスが良い。
- ・テクニカルサポートが繋がりがずい。
- ・取引先とデータをやり取りする際に、下位バージョンを利用できるのはありがたい。

D Design Suite A Architect L Landmark S Spotlight F Fundamentals

※1ライセンスあたりの標準価格(税込)。価格は変更する場合があります。

01 契約者専用コンテンツ

契約者専用コンテンツでご提供するさまざまなサービス
契約者専用コンテンツはVectorworks カスタマーポータルからの
ご提供となります。



専用コンテンツのマーク
ダイヤモンドのマークが付いている
ものが専用コンテンツとなります。



最新ソフトウェアのダウンロード/シリアル番号の閲覧
最新+過去3バージョン+過去保持履歴のあるバージョンのダウンロードやシリアル番号の閲覧ができます。



ご契約情報の確認

Service Selectの契約番号や契約期間などの確認、契約証書(PDF)のダウンロードができます。



豊富なライブラリデータの閲覧

建築やインテリア・造園・舞台の設計でご利用いただけるシンボル、イメージ、テクスチャなどのリソースを提供しています。



テクニカルサポートへお問い合わせ

「サポートリクエストフォーム」からお問い合わせの他、手順や現象を再現できるファイルなどを添付することができます。



Vectorworks University 契約者専用コンテンツの提供

Vectorworksを学ぶためのコンテンツを集約した、24時間いつでも学習ができるeラーニングをご利用できます。

02 ソフトウェアアップデート

常に最新のバージョンを提供



Service Select の契約期間中、ソフトウェアのアップデートを提供します。サービスパック、アップデートデータはもちろん、契約期間中にバージョンアップが行われた場合、新バージョンを無償で提供します。

例えば、「Vectorworks Fundamentals 2022」1ライセンスを所有し、Service Select 契約を行った場合で、契約期間中に「新バージョン」がリリースされると、同時、もしくはリリース直後に、新バージョンの「Vectorworks Fundamentals」1ライセンスをご提供※します。ご契約者様自身でのお手続きは一切必要ありません。

※新バージョンは、契約製品と同一製品タイプ、契約ライセンス数分の提供となります。お届けの方法/商品形態は、その時々で変更される場合があります。

03 Vectorworks Cloud Services

クラウドを介して、さまざまなデバイスと図面ファイルを共有できるサービス



専用のデスクトップアプリを介して図面を転送/同期。シートレイヤ上の図面を何枚でもクラウド上でPDF化、3Dモデルをクラウドレンダリングすることも可能です。さらに、iPadやiPhone、Androidからもアプリを通じてアクセスでき、閲覧や朱書きなどが可能です。

ファイル共有

(→p.21)

Vectorworks Cloud Services ポータル



3DパノラマビューとWebビュー (→p.22)

クラウド上のファイルを使って今までにない提案が可能



マイプレゼンテーション

(→p.23)

マイプレゼンテーションを作成



04 テクニカルサポート

契約者専用電話サポート



「電話サポート」では、Vectorworks 利用時のトラブルや操作質問などのご相談を直接受け付けています。電話サポートの受付時間は、一般サポートより1時間半長く、さらに Service Select 契約者様専用の電話番号をご用意しているため、一般サポートより繋がりがやすく、お気軽にお電話いただけます。

メールサポート(お問い合わせフォーム/Vectorworksカスタマーポータル内)



Vectorworks カスタマーポータル内のサポートリクエストフォームを介して、いつでもお問い合わせいただける環境を提供します。一般サポートとは異なり、調査してほしいデータを添付いただける「データ添付」が用意されているため、手順や現象を再現できるファイルや画像ダンプなども送ることができ、問題の早期解決につながります。

05 インターネットLiveサポート

お客様の画面を共有するリモートサポート



「インターネットLiveサポート」は、専用のインターネットサポートシステムを使用し、お客様のパソコン画面を弊社サポート担当者が直接見ることが可能なサポートです。

お客様の確認を取りながら遠隔操作(リモートサポート)を行うことで、直接、訪問して状況をお聞きするようなテクニカルサポートを提供します。

※テレビ電話等ではありません。

年間保守サービス「Vectorworks Service Select」

06 トレーニングセミナーの優遇

各種セミナーが割引価格



定例で行われている有料のリアルセミナー、Webセミナー（インターネットLiveセミナー）、カスタマイズセミナーのリアルセミナーを割引価格で利用できます。さらに、契約者限定の無料WebセミナーやカスタマイズセミナーのWebセミナーを用意しています。

07 旧バージョンの使用許諾

新バージョンへスムーズに移行



旧バージョンの使用許諾は、最新版以前のVectorworksも使用できる権利を認めるサービスです。通常、バージョンアップを行った場合、新しいバージョンに使用権は移行しますが、Service Select 契約者はバージョンアップ前の製品も含み、Vectorworks カスタマーポータルで提供される、旧バージョンを使用することができます。

Vectorworks カスタマーポータルで、「最新+過去3バージョン+過去保持履歴のあるバージョン」のシリアル番号を閲覧することができ、旧バージョンをご利用の取引先とVectorworksのバージョンを揃えてプロジェクトを遂行いただくことが可能です。

例えば、「Vectorworks Fundamentals 2019」から「Vectorworks Fundamentals 2022」にバージョンアップし、Service Select に契約した場合、契約に準拠することを条件に、Service Select 契約期間中、Vectorworks Fundamentals 2022、および「Vectorworks Fundamentals 2019～2021」の使用が認められます。

08 その他さまざまな特典

Vectorworksプラグインの無償提供

Service Select 契約者には、販売中の Vectorworks プラグイン製品の一部を契約者特典として無償ダウンロード提供、プラグインによって Vectorworks をより強化し、活用範囲も広がります。無償提供プラグインは「ユーザー登録 & Information ポータル」内の「アップデータ/ダウンロード」から入手可能です。Service Select 契約手続き完了後、数日以内に同ポータル内にてダウンロードできるようになります。

ネットワーク版サーバードングルの無償交換

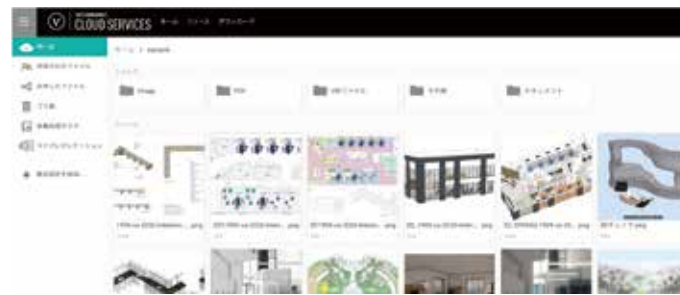
「Vectorworks ネットワーク版」のサーバードングルの盗難あるいは、火災や自然災害などの不可抗力によりドングルが損害を受けた場合には、無償で交換します（公的な証明書の提出が必要です）。なお、このサービスは1年に1回までとなり、期間内での2回目以降は有償となります。

Vectorworks Cloud Services について

Vectorworks Cloud Services 活用法 ①

ファイル共有 Vectorworks Cloud Services ポータル

Vectorworksファイルを保存するクラウド上の領域です。Service Select契約者は**20GB**の容量が利用でき、パソコンからアップロードされたVectorworksファイルのシートレイヤをPDFにして自動生成します。さらに、レンダリング設定されたシートレイヤ3Dモデルを自動でレンダリング、PDF生成します。クラウド上のファイルへは、ブラウザ/各アプリからアクセスでき、emailによる配布(送信)を行うことも可能です。



☑ 外出先のタブレットで図面や3Dモデルを閲覧

タブレットに専用アプリ「Vectorworks Nomad」をインストールすれば、クラウド上のPDFや3Dデータを閲覧可能です。朱書きや注釈なども入力可能です。



☑ 共有ファイルのダウンロードリンク生成、メール送信

アップロードされたファイルまたはフォルダのダウンロードリンクの生成やメール送信を行うことができます。



☑ Dropbox や Google Driveと統合

DropboxやGoogle DriveのアカウントをVectorworksファイルの保存に使用している場合、統合設定をご利用いただけます。



☑ 自動処理タスクで効率的に

Vectorworks Cloud ServicesやDropbox、またはGoogle Driveに保存されている任意のvwxファイルに対して、pdfファイルへの変換（Service Selectのご加入者のみ）、または3Dモデルの生成を自動で実行するスケジュールを設定できます。

Vectorworks Cloud Services 活用法 ②

3DパノラマビューとWebビューで仮想空間を体験

Vectorworksには、①3Dパノラマビュー取り出しと②Webビュー取り出しの3Dビュー機能が搭載されています。これらのファイルをVectorworks Cloud Services上に保管することで、スマートデバイスやタブレット、VRゴーグルなどを利用した仮想空間を体験することが可能となります。

○全製品で使える機能

①3Dパノラマビュー取り出し

リアリティのあるRenderworksレンダリングをパノラマビューで取り出すことができます。Webビューとは異なり、空間内を移動することはできませんが、Cinewareを使った美しいレンダリング空間をインターネットブラウザ、スマートデバイス、または、VRゴーグルなどを通して360度見渡し、リアルなインタラクティブ体験が可能です。



△Architect・Landmark・Spotlight・Design Suiteのみ使える機能

②Webビュー(3D)取り出し

インターネットブラウザ、またはスマートデバイスを使用して設計した空間の中に入り、移動できる仮想空間体験を提供します。2週間保存可能な仮置きサーバーに加え、Vectorworks Cloud Services サーバー、および同サーバーと同期したDropboxにも保存が可能です。



QRコードから読み込んだの表示も可能

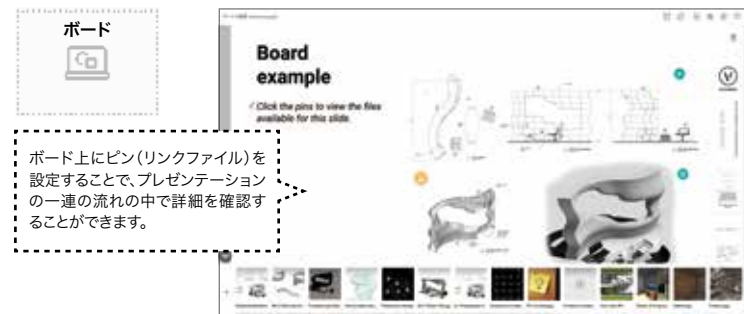
Vectorworksで3Dパノラマビュー取り出し、Webビュー取り出しをする時、「共有リンクを取得」にチェックを入れることで、QRコードの作成もできます。QRコードを読み取れるスマートデバイスやタブレットがあれば、すぐに確認をすることが可能です。



Vectorworks Cloud Services 活用法 ③

マイプレゼンテーションを作成

Vectorworksは、PDFやイメージファイル、動画、インタラクティブな3Dビューを提供するWebビューや360度パノラマイメージなど、さまざまなタイプのプレゼンテーションファイルを作成することができます。これらすべてのファイル形式を使用して、あなたのデザインのインタラクティブなプレゼンテーションを作成することが可能です。作成したプレゼンテーションは、クライアントや共同作業者との共有、Webが使用できる任意のデバイスから通常の閲覧、さらにVRモードでの閲覧をすることができます。



さまざまなファイルを活用した印象に残るプレゼンテーション資料に

プレゼンテーションのスライドは、情報量が多すぎるとかえって印象に残らない内容になってしまいます。リンクファイルを活用すると、情報を整理し、顧客にとって見やすく、必要ときに追加情報として、臨機応変に見せられるような資料を作成できます。



Service Select お申し込みについて

Vectorworks Service Select 契約のお申し込みには、「契約申込書」が必要となります。申込書請求フォームから必要事項を入力の上、「契約申込書」をご請求ください。フォーム内でご入力いただいたご契約担当者様メールアドレスにPDF形式で返信させていただきます。「契約申込書」には、契約金額(消費税込の標準価格)が記載されています。

申込書請求フォーム <https://www.aanda.co.jp/VSS/offer.html>

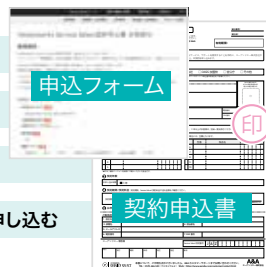
お申し込み手順

1 申込フォームから申込書を請求する

2 弊社より契約申込書をメールにて送付します

3 必要事項を記入・捺印する

4 量販店/販売店、またはA&A ストア・オンラインに申し込む



サービスの利用開始まで

お申し込み後、契約手続きがすべて完了すると、「契約手続完了通知(書面)」をお申し込み先(量販店/販売店/エーアンドエー)からお送りします。また、「契約申込書」記載の「ご契約担当者」様メールアドレスまで、お手続き完了のメールが送信されます。完了メールには、Vectorworks カスタマーポータルへのサインイン方法が記載されています。メール記載のアクセス期限までにポータルにアクセスいただくと、各サービスをご利用いただけます。

毎月のお申し込み期限について(新規/追加契約)

毎月20日までに、契約申込書を販売店・量販店へお持ちいただくか、または、A&A ストア・オンラインまでお申し込みいただく、翌月1日から契約を開始できます。20日を超えた場合は、契約開始が翌々月1日からとなります。

途中解約について

契約料金支払い後は、いかなる理由があっても、途中解約による返金はできません。

契約対象ライセンスについて

所有する(1ユーザーIDで登録されている)対象バージョンのすべてのライセンスを契約いただく必要があります。

ユーザー登録について

契約する製品は、必ずユーザー登録されている必要があります。パッケージ新規購入同時契約の場合は、契約申込フォームに入力した内容を元に Service Select 用新規購入申込書を発行し、ユーザー登録を行います。

追加購入について

契約途中に新規購入された追加ライセンスまたはモジュール製品を Service Select 契約したい場合、既契約の Service Select 契約満了日から算出する契約料金(月割り料金)が発生します。この月割り料金は、スタンドアロン版製品やネットワーク版製品の組み合わせによって料金が異なるため、お申し込み前に直接お客様から弊社A&Aカスタマーサポートへ構成内容についてのお問い合わせをいただく必要があります。構成内容の決定に基づき追加契約申込フォームから作成された追加契約申込書を使用して、量販店/販売店または、A&A ストア・オンラインまでお申し込みください。

Service Select 契約料金と種類

契約の新規/追加契約は、毎月20日までに申し込み、契約の更新は契約満了15日前までにお申し込みください。

新規契約料金と更新料金 ※標準価格(税込)、1ライセンスごとの単価となります。

契約製品	新規契約料金	次年度更新
Vectorworks Design Suite 2022 スタンドアロン版	134,200円	134,200円
Vectorworks Architect 2022 スタンドアロン版	107,800円	107,800円
Vectorworks Landmark 2022 スタンドアロン版	107,800円	107,800円
Vectorworks Spotlight 2022 スタンドアロン版	107,800円	107,800円
Vectorworks Fundamentals 2022 スタンドアロン版	81,400円	81,400円
Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版	81,400円	81,400円
Design Suite モジュール 2022 ネットワーク版	52,800円	52,800円
Architect モジュール 2022 ネットワーク版	26,400円	26,400円
Landmark モジュール 2022 ネットワーク版	26,400円	26,400円
Spotlight モジュール 2022 ネットワーク版	26,400円	26,400円

契約の種類

1 新規契約

はじめて Service Select にご契約いただく場合は、「新規契約」となります。契約期間は、1年(12ヶ月)単位です。ご契約申込月の翌月1日から契約期間満了日までが契約期間です。契約料金は、1年間の Service Select 契約料金です。

2 追加契約(既契約にライセンスを追加する)

契約中にライセンス購入などによって、その契約に追加する場合は追加契約が必要となります。契約期間は既契約と同じ満了日までとなり、追加契約開始月～満了月までの月割り金額が、契約料金となります。

3 追加契約(契約製品をモジュール追加によって変更する)

契約済みの製品にモジュールを追加して変更する場合、モジュールの追加と合わせて契約を変更いただく必要があります。例えば、Service Select 契約済みの「Vectorworks Fundamentals」に、Architect モジュールを追加して、「Vectorworks Architect」に変更させた場合などがこれに該当します。契約料金は、モジュール追加前製品とモジュール追加後製品との契約料金差額で、満了日までの残月数分となります。

4 契約更新

契約の更新は、契約満了日の75日前から15日前までに申し込みいただけ、2年目の Service Select 年間契約料金のみで更新できます。手続きのご案内は、契約満了日の75日前から契約担当者※様宛てに直接ご案内します。

※ 契約担当者 = 新規契約時、申込書「契約者(担当者)情報」欄に明記の契約手続き「ご担当者」様

Service Select に関するよくあるご質問

- 新規契約の開始はいつからですか。**
 毎月20日までのお申し込みで翌月1日からです。そのため、21日にお申し込みをされた場合、契約開始は翌々月1日からとなります。※20日が土日祝日の場合、申し込み期限はその前営業日となります。
- 契約期間が1年間となっていますが、その後も契約を続けるにはどうすればよいですか。**
 契約満了となる前に、契約更新申込書などの必要書類をお送りします。申込書を紛失した場合は、A&Aカスタマーサポートまでお問い合わせください。
- 契約更新はいつまでに申し込みればよいでしょうか。**
 現在のご契約の満了月の15日までが申込期限となっております。契約更新申込書に有効期限が記載されておりますので、期限までにお申し込みください。なお、15日が土日祝日の場合は、その前営業日が期限となります。
- 契約更新料はいくらですか。**
 契約更新の有効期限までに契約更新の場合は、契約更新申込書に記載の料金が適用されます。
- 契約者や契約担当者を変更できますか。**
 個人契約:名義変更はできません。住所・電話番号などの変更は可能です。法人契約:名義変更(会社(団体)名もしくは学校名)はできません。住所・電話番号の他、ご担当者・ご契約者は変更可能です。
 ※ユーザー登録&Informationポータルにてユーザー登録情報の変更をお願いします。
- 契約期間中に、新規ライセンスを増やすことはできますか。**
 ご契約内容の変更となりますので、追加契約申込書や専用の新規製品購入申込書が必要です。Service Select 契約申込書の取り寄せページから必要書類を請求いただくか、A&Aカスタマーサポートまでお問い合わせください。
- 契約更新をするライセンス数を変更できますか。**
 現在ご契約いただいている構成を変更することはできません。あらかじめご了承ください。なお、契約更新された後に、最新バージョンの新規購入ライセンスを追加契約いただくことは可能です。
- 契約更新は、申込期限を過ぎてから申し込みはできますか。**
 1年以内であれば、契約更新が可能です。ただし、契約料金とは別に、遡り手数料22,000円(税込)が発生します。お申し込みの場合は、専用の申込書が必要です。A&Aカスタマーサポートまでお問い合わせください。
- 新規契約や追加契約、契約更新は販売店や家電量販店からもお申し込みできますか。**
 販売店や家電量販店からもお申し込み可能です。契約申込書を持参して販売店や家電量販店へお申し込みください。
- もし契約を更新しない場合、Vectorworks は使えなくなるのですか。**
 Service Select 契約に関連するサービスは契約満了をもって終了しますが、Vectorworks 製品は引き続きご利用いただけます。

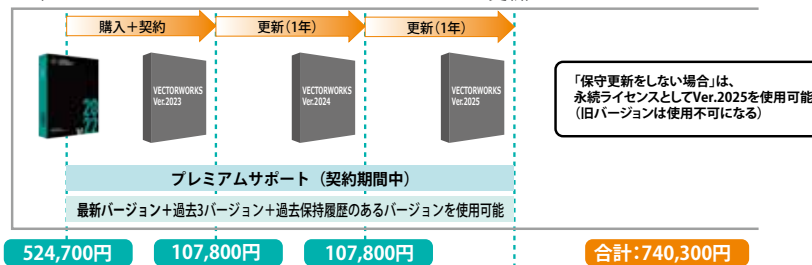
3年後にバージョンアップをするよりも Service Select の契約を3年間継続する方が、お得にVer.2025を入手できます。

例) Architect スタンドアロン版の場合

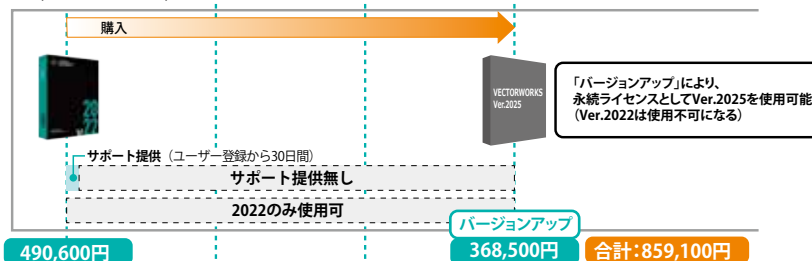
2022年契約……2023年契約……2024年契約……2025年契約……

永続ライセンス+保守付き

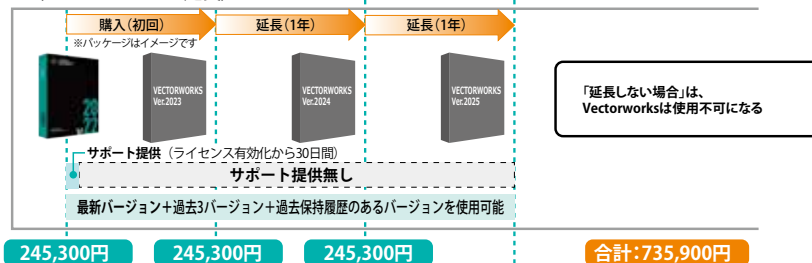
(Architect 2022 Service Select/バンドル+Service Select更新)



永続ライセンス (Architect 2022)



サブスクリプションライセンス+延長 (Architect 2022+延長)



※現時点での想定価格で試算。価格を変更することがあります。

Vectorworks 2022の動作環境をご案内いたします。お使いのパソコンが以下の条件を満たしているかご確認ください。条件を満たしていない場合、Vectorworksが正常に起動しない場合があります。Vectorworksを快適にご使用いただくために、条件を満たしたパソコンでご使用になることを強くお勧めします。最新の情報は弊社Webサイトをご確認ください。

<https://www.aanda.co.jp/Support/sysreq/vw2022.html>

Vectorworks 2022 スタンドアロン版 (永続ライセンス/サブスクリプション)

	Windows	Mac
OS	Windows 11、Windows 10 (64bit) ※32bit OSは非対応	macOS 12 (Monterey)、macOS 11 (Big Sur) macOS 10.15 (Catalina)
目安となるデータの規模	・2D図面 ・簡単な3Dモデリング	・詳細な2D図面 ・詳細な3Dのモデリング ・小中規模BIM ・レンダリング
CPU	・3GHz以上のIntel Core i5またはAMD Ryzen 5、または、それと同等のもの ・Apple M1以上	・6コア以上搭載で2GHz以上のIntel Core i7または、AMD Ryzen 7、または、それと同等のもの ・Apple M1 Pro以上
メモリ	8GB以上	16GB以上
グラフィックス	2GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード ・Mac: Metal GPUFamily1以上 ・Windows: DirectX 11互換	4GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード ・Mac: Metal GPUFamily1 v4以上 ・Windows: DirectX 11互換
HDD	ハードディスク空容量 41GB以上 (オプションライブラリ31GBを含む) ・フラッシュストレージ (SSD)にVectorworksをインストールすることで動作速度が向上します。	8GB以上のVRAMを搭載した以下の条件を満たすグラフィックカード ・Mac: Metal GPUFamily2以上 ・Windows: DirectX 11互換
画面解像度	推奨1920 x 1080以上 (最小1440 x 900) 4K・Retinaディスプレイ対応	
インストール	・製品版は1ライセンスで1ユーザーが使用している2台のパソコンにインストールできます。ただし同時起動はできません。・Windows、Macの両プラットフォームに対応しています。 ・起動にはインターネット経由のアクティベーションが必要です。 ・インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードしていただきます。 ダウンロードができない場合は、別途「Vectorworks 2022 インストールメディア(USB)」¥4,950(税込)型番:P27001が必要です。	
その他	・ご使用にあたり製品のユーザー登録が必要です。 ・インストール、アクティベーションのためのインターネット接続環境が必要です。 ・Vectorworksアカウントの作成、サインインが必要です。(※右頁 補足参照) ・インターネット接続可能な環境でご利用の場合、Vectorworksアカウントの登録が必要です。 ・日本語OS環境でご利用ください。 ・大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 ・PDF閲覧のためのPDF閲覧ソフトが必要です。 ・ヘルプ閲覧のためのブラウザが必要です。 ・Mac版インストーラーはRosetta 2 エミュレーションで動作します。	

※記載されている情報は2022年5月現在のものです。

Vectorworks 2022 ネットワーク版 (永続ライセンス) クライアント

動作環境	Vectorworks 2022 スタンドアロン版の動作環境に準じます。
スタンドアロン版との差異	Vectorworksクライアントから直接インターネット経由のアクティベーションは行いません。

Vectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア)

	Windows	Mac
OS	Windows 10 (64bit) Windows Server 2019 (64bit) Windows Server 2016 (64bit) Windows Server 2012 R2 (64bit) ※32bit OSは非対応。	macOS 11 (Big Sur) macOS 10.15 (Catalina) macOS 10.14 (Mojave) macOS 10.13 (High Sierra)
起動認証方式	インターネット経由のアクティベーション ※ドングルタイプの選択も可能です。ドングルタイプの注意事項は「その他」をご確認ください。	
CPU	Intel Core 2 Duo以上	
メモリ	4GB以上	
HDD	ハードディスク空容量:40MB以上	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバー専用のパソコンを推奨します。 ・インターネット接続環境が必要です。 ・TCP/IPプロトコルが必要です。 ・100Mbps以上の速度のネットワーク回線が必要です。 ・サーバー/クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワークが整備された環境が必要です。 ※サーバーとクライアントは同一ネットワーク上で使用してください。 ・対応クライアントアプリケーション <ul style="list-style-type: none"> ・Vectorworks 2018~2022 ネットワーク版 ・Vectorworks 2015~2017 サイトプロテクションネットワーク版 ・Vectorworks 2014 ネットワーク版 シリーズG ・サーバーアプリケーション管理のためのブラウザソフトが必要です。 ※サーバー管理画面は英語表記になります。 ・インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードしていただきます。 ダウンロードができない場合は、別途「Vectorworks 2022インストールメディア(USB)」¥4,950(税込)型番:P27001が必要です。 ・ドングルタイプをご希望の場合、「ネットワーク版 認証用USBドングル」¥11,000(税込)型番:P27100の同時購入が必要です。 ・ドングルタイプにはCDまたはDVDドライブ及びドングル用USBポートが必要です。 	

(※補足) Vectorworksアカウントについて

- インストール後の初回起動時にカスタマーポータルへの「Vectorworksアカウント」によるサインインが必須になります。Service Selectへ加入されている方は、Service Select契約に紐づくVectorworksアカウントでサインインをしてください。
- ネットワーク版のクライアントとしてVectorworksを起動する場合、クライアントがインターネット接続されているとサインインを求められますが、サインインをしなくてもVectorworksの起動が可能です。Service Select契約に紐づくアカウントでサインインをすれば、プレミアムコンテンツの使用が可能になります。

[ご注意]

- ・意図的にサインアウトすると、Vectorworksの起動時に再度サインインを求められます。
- ・新規にVectorworksアカウントを作成、またはService Select契約に紐づかないアカウントでサインインをすると、Service Select契約によって得られるプレミアムコンテンツ (追加ライブラリなど) をご利用できません。

以下は、Vectorworksの開発元であるVectorworks, Inc.の技術情報を元に、Vectorworks 2022を快適にお使いいただくために必要な情報をまとめています。

グラフィックスコントローラについて

いくつかのVectorworks 2022の機能は、高いグラフィックスハードウェアの性能を必要とします。さらに新しいVectorworksグラフィックスモジュール (Vectorworks Graphics Module)でもたらされるグラフィックス性能・品質は、グラフィックスコントローラの速度、VRAMの量、そして拡張機能に直接依存します。これらの機能は、対応したハードウェアで使用するると非常に高速かつ滑らかな操作感をもたらしますが、古い、または適合しないハードウェアで用いると、顕著に動作が遅くなります。

グラフィックスコントローラは以下の3種類があります。

- ・グラフィックスボード：ボードタイプでパソコンの拡張スロットに増設されています。
- ・単体グラフィックス：チップタイプでマザーボード上に取り付けられています。
- ・CPU内蔵グラフィックス：CPUと一体タイプでCPUに内蔵されています。

※ Windows環境でNVIDIAグラフィックスをご利用の場合は、合わせてこちらの設定手順もご参考ください。

<https://bim.aanda.co.jp/blog/2019/06/4636/>

※ Mac環境でMacbook Proをご利用の場合は、合わせてこちらの設定手順もご参考ください。

<https://bim.aanda.co.jp/blog/2019/07/4716/>

Iris, Iris Pro/Iris Plus/Iris Xeでのご使用について

Intel製CPU内蔵グラフィックスのIris, Iris Pro/Iris Plus/Iris Xe環境でVectorworks 2022をご使用になる場合は、Vectorworks 2022のグラフィックス設定を以下のように設定してください。2D描画時の安定性が向上します。

・ツールメニュー > オプション > 環境設定 > 画面タブ > グラフィックス処理を加速のチェックをオフ

シェイドについて

OpenGLレンダリングモードは、シェイドレンダリングモードへ名称が変更になりました。MacはMetal GPU Family 1以上、WindowsはDirectX 11互換のグラフィックスコントローラをご使用ください。この要件を満たさない場合は、シェイドモードでレンダリングを実行すると機能が制限され、機能しません。シェイドの影と輪郭のレンダリングはVRAMを大幅に使うため、最低でも2GB、できれば4GB以上のVRAMを必要とします。特に以下の機能を組み合わせて、シェイドの影や輪郭をフルに活用したいと考え、かつ、お使いのグラフィックスコントローラが、2GB未満のVRAMしか搭載していない場合は、グラフィックスコントローラをアップグレードすることをお奨めします。

・数多くの光源 ・点光源 ・イメージ/反射/透過 テクスチャ ・アンチエイリアス ・高品質の影 ・大量の図形
・複雑な図形

マルチビューについて

マルチビューのすべてのウィンドウを異なる表示設定で使用する場合、多くのVRAMが使用されるため、少なくとも2GBのVRAMを必要とします。また、大きなVectorworksドキュメントの場合は4GB以上のVRAMを推奨します。

VRAM(ビデオメモリ)について

Vectorworks 2022を十分に動作させるのに必要なVRAMの量は、使用するディスプレイのサイズとファイルの複雑さに依存します。

標準解像度が1920x1080以下の中程度のサイズのディスプレイでは、少なくとも2GBのVRAMを搭載したグラフィックスコントローラを使用してください。30インチ以上などの大きいディスプレイでは少なくとも3GB以上、できれば4GB以上のVRAMを搭載した新しいグラフィックスコントローラを使う必要があります。

Windowsのグラフィックス環境について

NVIDIA、またはAMD製のチップを搭載したグラフィックスボードの使用を推奨します。評価検証済みのグラフィックスボードについては、こちらのサイトの情報をご参照ください。

https://www.aanda.co.jp/Support/sysreq/VW_QualityTestedHardware.html

推奨しないグラフィックスコントローラについては動作環境の「グラフィックス」欄をご参照ください。

ノートパソコン/ビジネス用デスクトップパソコンでは、単体グラフィックスを搭載した機種を推奨します。CPU内蔵グラフィックスに比べ、より高い操作感を得ることができます。

CPU内蔵グラフィックスを使用した場合、複雑で大量の図形を使用すると表示速度が低下する場合があります。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Iris, Iris Pro/Iris Plus/Iris Xeをご使用ください。その他(Intel HD系)は、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。

なお、グラフィックスコントローラの性能に依存するレンダリングモードの種類については「各種レンダリングのハードウェア依存について」の情報をご参照ください。また、NVIDIAグラフィックスをご利用の場合は、合わせてこちらの設定手順もご参考ください。

<https://bim.aanda.co.jp/blog/2019/06/4636/>

Macのグラフィックス環境について

- ・Mac Pro:NVIDIA、またはAMD製のチップセットを搭載したグラフィックスボードを推奨
- ・MacBook関連 / iMac / Mac Mini:単体グラフィックスを搭載した機種を推奨

やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Iris, Iris Pro/Iris Plusをご使用ください。その他(Intel HD系)は、問題が発生する可能性が高いためご使用は避けてください。

また、Macbook Proをご利用の場合は、合わせてこちらの設定手順もご参考ください。

<https://bim.aanda.co.jp/blog/2019/07/4716/>

グラフィックスドライバーについて

古いバージョンのグラフィックスドライバーを使用すると、問題が発生する場合があります。Vectorworks 2022を使用する前に、まずグラフィックスドライバーを最新のバージョンへアップデートしてください。

- ・NVIDIA ドライバー： <https://www.nvidia.co.jp/Download/index.aspx?lang=jp>
- ・AMD ドライバー： <https://support.amd.com/ja-jp/download>

動作確認済みのグラフィックスコントローラについて

こちらのサイトで、動作確認済みのグラフィックスコントローラをご案内しています。

https://www.aanda.co.jp/Support/sysreq/VW_QualityTestedHardware.html

リモート環境および仮想マシンについて

Vectorworks 2022 は、Remote Desktop, Terminal Services, VNCなどのリモートログイン環境や、Parallels、またはVMwareなどの仮想マシン環境が、通常の作業に適しているとは考えていません。これらの環境では管理者の検証用やユーティリティ目的ならば使用できる場合がありますが、インタラクティブな画面上の動作速度が低下します。

Vectorworks 2022 は、Mac上のBoot Campでの動作をサポートしています。使用するハードウェアで適切、かつ最新のドライバーを使用してください。

OSのアップデートについて

リリース時にご案内しているOS(オペレーティングシステム)のバージョンを最低動作環境として推奨します。OSに起因する問題が発見された場合には、問題解決の最初の手順として、OSのアップデートをお願いする場合があります。

32bit OSについて

Vectorworks 2022 は64bitアプリケーションです。32bit OSには対応しておりません。

動作の最適化について

- ・大容量のファイルと複雑なレンダリングモードを用いて作業する場合、最低でも16GBのメモリを搭載して使用することを強く推奨します。メモリの容量が不足すると、Vectorworks 2022 は仮想メモリを使用することで動作し続けますが、ハードディスクにアクセスするため動作速度は著しく低下します。また、メモリの容量が極端に不足すると、十分なメモリ容量があれば完了する操作の場合にもエラーが発生する場合があります。
- ・高速なハードディスクドライブを使用することで、仮想メモリ使用時にシステムの動作速度を若干向上させることができます。
- ・CPUのクロック速度が高速であるほどVectorworks 2022 の操作感が向上します。
- ・インストールに必要なハードディスクドライブの容量は、プログラムのみで10GB必要です。オプションライブラリのインストールには、さらに31GB必要となります。オプションライブラリの一部をインストールしないことで、容量を削減することができます。

プロジェクト共有サーバー 2022 動作環境

Project Sharing Server (プロジェクト共有サーバー)

	Windows	Mac
OS	Windows 10 (64bit) Windows Server 2019 (64bit) Windows Server 2016 (64bit) Windows Server 2012 (64bit) ※32bit OSは非対応	macOS 11 (Big Sur) macOS 10.15 (Catalina) macOS 10.14 (Mojave) macOS 10.13 (High Sierra) macOS 10.12 (Sierra)
	※プロジェクト共有サーバーは、ネットワーク接続ストレージ(NAS)デバイスなどの Dockerをサポートする任意のシステムにもインストールできます。上記以外のOS対応状況については、弊社Webサイト (https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html)をご確認ください。	
CPU	Intel Core 2 Duo以上	
メモリ	4GB以上	
ネットワーク環境	推奨: 1Gbit/sのイーサネットネットワーク (最小: 100Mbit/sのイーサネットが必要です。アップロード時は最低50Mbit/s)	
	同一LAN上で共有する場合、サーバーベースの共有を推奨します。 プロジェクト共有サーバーが使用するネットワークポートをファイアウォールで許可する必要があります。 デフォルトのポートは22001です。 ネットワークはHTTP 1.1 standardをサポートする必要があります。	
その他	フラッシュストレージ(SSD)にインストールすることで動作速度が向上します。 大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 ※ プロジェクト共有機能は、Vectorworks Fundamentalsでは利用できません。	

プロジェクト共有機能とネットワーク回線の速度について

ネットワークを通じてプロジェクト共有作業を行う場合、Vectorworks 2022 のパフォーマンスはネットワーク回線の速度に左右されます。ネットワーク回線速度が十分でない場合は、プロジェクトファイルに変更を反映させる操作やローカルのワーキングファイルの更新操作など、ネットワーク越しに大量のデータを送信するような操作を実行すると、速度が低下します。

最低でも100Mbpsの速度のネットワーク回線の使用を推奨します。大きなプロジェクトの場合は、高速で、滑らかな動作を得るために、1Gbpsの速度のネットワーク回線を強く推奨します。遅いネットワーク環境でも、大量のデータを送信する操作を最小限に抑えることで十分ご使用いただくことができます。

※ プロジェクト共有機能は、Vectorworks Fundamentalsでは利用できません。

クラウドストレージを使用するプロジェクト共有には、高速インターネット接続(50Mbps以上)が必要です。この共有方法は、小規模なチームや小規模なプロジェクトで効果的です。大規模なチームや大規模なプロジェクトにはお勧めできません。プロジェクトの共有には一般的に高速ネットワーク接続が必要ですが、ネットワークを介して大量のデータを転送する操作(プロジェクトファイルへの変更の反映やローカルの作業ファイルの更新など)を最小限に抑えることで、十分な操作感が提供されます。DropboxでLAN同期を有効にすると、速度が大幅に向上することが期待できます。これは、プロジェクト共有のためのクラウドベースの共有ソリューションとして推奨されます。

下表に、異なる帯域幅およびプロジェクトファイルサイズに対する反映、および更新動作中のデータ転送時間の例を示しています。

プロジェクトファイルサイズ	ネットワーク回線速度 (ダウンロード/アップロード)	反映/更新 データ転送時間
100MB	50Mbps	~20s
	100Mbps	~10s
	1Gbps	~1s
500MB	50Mbps	~100s
	100Mbps	~50s
	1Gbps	~5s
1GB	50Mbps	~200s
	100Mbps	~100s
	1Gbps	~10s

各種レンダリングのハードウェア依存について

Renderworksレンダリングでは、Maxon社製のCinewareエンジンを使用しています。Cinewareは完全に64bit化されているため128GB以上のメモリや、Renderworksレンダリングモードでマルチコア(複数CPUコア)を活用することができます。シェイド、ワイヤーフレーム、隠線レンダリングはCinewareエンジンを用いていないため、Renderworksレンダリングほどメモリを消費しません。

下表に、レンダリングモードの種類と、レンダリング操作を行う際にプロセッサ(CPU)を使用するか、グラフィックスコントローラ(GPU)を使用するかを示しています。

レンダリングモード	グラフィックスコントローラ (GPU)	プロセッサ (CPU)
2D/ワイヤーフレーム	使用	使用 - シングルコアで動作
シェイド	使用	不使用
隠線	不使用	使用 - マルチコアで動作
仕上げポリゴン/シェイドポリゴン	不使用	使用 - シングルコアで動作
簡易Renderworks/仕上げRenderworks/カスタムRenderworks	不使用	使用 - マルチコアで動作

上表から分かるように、グラフィックスコントローラのリソースを使用するレンダリングモードはシェイドとワイヤーフレームのみです。他のレンダリングモードはグラフィックスコントローラに依存しないため、グラフィックスコントローラをアップグレードしても、シェイドとワイヤーフレーム以外ではレンダリング速度や品質は向上しません。(注意:レンダリングモードではありませんが、グラフィックスコントローラは2D/平面ビューおよび通常の2Dナビゲーショングラフィックスに直接影響します)

逆に、各種Renderworksレンダリングモードは主にCPUを使用し、マルチコアを使用することができます。このため、これらのモードでレンダリング速度を向上させるには、より上位のCPUにすると効果的です。ワイヤーフレームモードは、グラフィックスコントローラのアップグレードと、よりパワフルなCPUの両方で効果がありますが、グラフィックスコントローラに依存する度合いが高くなります。

快適にお使いいただくために (3)

Redshift 動作環境

Redshift by Maxonは、GPUを使用してレイトレーシングを効率的に実行します。Redshiftには、次の特定のシステム要件があります。

	Windows		Mac	
OS	Windows 10 (64bit)		macOS 11.3 (Big Sur)以降	
CPU	最小	SSE2対応のプロセッサ (Pentium4以上)	最小	Apple M1
	推奨	3.0GHz以上のIntel Core i7 または Xeon または、それと同等のもの	推奨	・3.0GHz以上のIntel Core i7 または Xeon または、それと同等のもの ・Apple M1
メモリ	最小	8GB	最小	8GB (CPUがM1の場合は 16GB)
	推奨	16GB	推奨	16GB
グラフィックス	最小	8GB以上のVRAMを搭載したCUDA5.0以上のNVIDIAのシングルGPU	最小	Apple M1もしくは8GB以上のVRAMを搭載したAMD Navi あるいはVegaのシングルGPU
	推奨	10GB以上のVRAMを搭載したCUDA7.0以上のNVIDIAのマルチGPU	推奨	Apple M1もしくは8GB以上のVRAMを搭載したAMD Navi あるいはVegaのマルチGPU
			macOS11.3以降でサポートされているAMD GPUのリスト MacBook Pro Radeon Pro Vega 16/20 Radeon Pro 5500M/5600M iMac Radeon Pro Vega 48 Radeon Pro 5500XT/5700/5700XT iMac Pro Radeon Pro Vega 56/64 MacPro Radeon Pro Vega II / Vega II Duo Radeon Pro W5500X/W5700X Radeon RX 6800/6800XT/6900XT Thunderbolt eGPUs Radeon RX Vega 56/64 Radeon Pro WX 9100 Radeon VII Radeon RX 5500/5500XT/5600XT/5700/5700XT Radeon RX 6800/6800XT/6900XT	

高解像度ディスプレイについて

MacにはRetinaディスプレイや5Kディスプレイを、Windowsには4Kディスプレイを搭載している機種があります。これらの機種でRenderworksレンダリングを行うと、画面の解像度に合った高精細なレンダリングを行うことができます。反面、生成するピクセル数が多くなるため標準的なディスプレイと比較すると3~4倍のレンダリング時間が必要となります。

MacのRetina、または5Kディスプレイを搭載している機種でRenderworksレンダリングを高速化したい場合は、Vectorworks 2022 アプリケーションアイコンをCtrlキー+クリックしてコンテキストメニューから「情報を見る」を選択し、「低解像度で開く」をチェックしてください。チェックすることにより標準的な解像度でレンダリングされるようになり、レンダリング時間を抑制することができます。

PLUGIN SOFTWARE

Vectorworksプラグインソフトウェアは、Vectorworks上で稼働し、建築設計や各種シミュレーションをサポートします。

記載価格は税込です。

斜線・天空率・日影を計算する

jw_cadファイル取り出し/取り込み

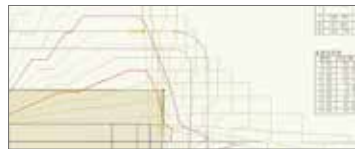
ADS-BT for Vectorworks

Vectorworks上で建築設計における斜線制限と逆日影計算・等時間日影計算・天空率計算などの高さ制限解析をサポートします。

開発:生活産業研究所株式会社
標準価格:187,000円

JW コンバータ

Vectorworksにインストールすることで、建築設計におけるJW_CADとのデータ互換 (JWW/JWS取り込み、JWW取り出し)機能を追加するVectorworksプラグインです。※A&Aストアオンライン・ダウンロード販売のみ
標準価格:3,300円



情感豊かな植栽表現

歩行者シミュレーション

Vectorworks素材集3D植栽編

情感豊かな植栽表現を可能にする3D素材集。パースに季節感をだすことができる「常緑樹」「落葉樹」「低木」「草花」など使いやすい植栽をパックにしました。

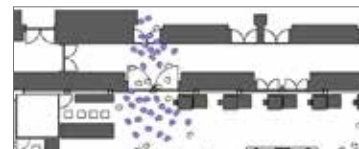
開発:株式会社ユニマトリック
標準価格:33,000円



SimTread

これまで困難だった人の流れや群集の波を簡単に視覚化するプラグインです。建築物や大型イベント等における誘導計画や船舶、旅客機などの避難シミュレーションが可能です。

標準価格:110,000円



※SimTreadは、Vectorworksサブスクリプションではご利用いただけません。

在来軸組木造用のBIMツール

木造住宅設計の建具に特化

木造BIMツール

在来軸組木造用のBIMツールです。専用ツールで作成される柱や筋交い、梁、桁は、ストーリーのレベル高に追従させることができ、筋交いは、部材の長さから壁実長が計算され、タイプから壁倍率が自動計算される機能を搭載しています。

※ArchitectまたはDesign Suiteで無償にてご利用いただけます。



木造建具ツール

木造建築設計において日本の建具を配置、図面化できるプラグインです。日本の住宅設計で使用される建具を玄関ドアや室内ドアなど12のツールに集約しています。パラメーター変更によって100種類以上の建具 (2D図面/3Dモデル) を再現できます。

※ArchitectまたはDesign Suiteで無償にてご利用いただけます。

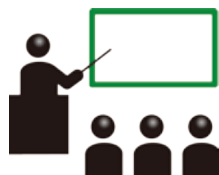


Vectorworksを習得するためのお手伝いをさせていただき各種トレーニングセミナー、情報配信サイト、操作技能認定試験を取り揃えています。

リアルセミナー

エーアンドエーセミナールームにお越しただいて開催するセミナーです。2D、3Dの基礎、建築図面、パース作成などの豊富な定例コースを用意して、弊社スタッフが習得のお手伝いをします。

▼詳しくはこちらから
www.aanda.co.jp/seminar/real/



Webセミナー

インターネット環境を使って開催するセミナーです。特定のセミナー会場まで足を運ばなくても、インターネットを通して講師の説明を受けながら、ご自宅やオフィスでVectorworksの操作演習ができます。

▼詳しくはこちらから
www.aanda.co.jp/seminar/web/



カスタマイズセミナー

オーダーメイドの講習です。実務に沿った構成や、新入社員向けの講習など、お客様のニーズに合わせたカリキュラムをご提案します。Webを使った講習もうけたまわります。

▼詳しくはこちらから
www.aanda.co.jp/seminar/custom/

Vectorworks オープンキャンパス

全国各地で出張開催するセミナーです。操作体験セミナーや有料の操作習得のセミナー、普段お困りのことを何でもご相談いただける「よろず相談」などを行います。お近くで開催の際はぜひご参加ください。

▼詳しくはこちらから
www.aanda.co.jp/seminar/OC/



Vectorworks Design Blog

Vectorworksをより深く活用するための情報サイトです。Architect・Landmark・Spotlightの各プロダクトの解説講座や、実際に多く寄せられるご質問を、詳しく解説した記事を掲載しています。

▼詳しくはこちらから
bim.aanda.co.jp/blog/



Vectorworks 操作技能認定試験

Vectorworksの操作技能の向上や社会ニーズに適った技能者の養成を目指し、操作技能を客観的に評価できる基準のひとつとして、Vectorworksの国内総販売元であるエーアンドエーが主催し実施する操作技能認定試験です。

▼詳しくはこちらから
www.aanda.co.jp/exam/



OASIS (オアシス)

Vectorworksを使った授業に取り組みられているみなさまのために設立された教育支援プログラムです。「デザインの時間をより多く」をモットーに、教育機関向けのVectorworks総合窓口として、全国のOASIS加盟校への支援サポート・サービスを提供しています。

▼詳しくはこちらから
www.aanda.co.jp/OASIS/



Vectorworks student2PRO

Vectorworksを設計のツールとして学ばれた学生のみなさまが設計者やデザイナーとなり、その培われてきた技能を継続していただくための支援プログラムとして、Vectorworks学生単年度版をご利用になられたみなさまにVectorworks製品を特別価格でご購入いただけるサービスです。

▼詳しくはこちらから
www.aanda.co.jp/student2pro/



Vectorworks University

Vectorworksを学ぶためのコンテンツを集約した、総合的な学習用サイトです。はじめてVectorworksに触れる方向けの2D、3Dの基本操作の動画のほか、経験者でも便利なテクニックを学べるTips動画など、コンテンツは順次拡大の予定です。

▼詳しくはこちらから
www.aanda.co.jp/univ/



ネットワーク版セットアップガイド

Vectorworksネットワーク版のサーバー、クライアントの設定を記載したセットアップガイドです。導入前にセットアップ内容を確認することができます。

▼詳しくはこちらから
www.aanda.co.jp/ct/dl_manual.html



製品型番・価格一覧

・型番をお伝えいただくとスムーズにお問い合わせいただけます。
・記載の価格は税込です。

有償メディア (USB) 製品にインストールメディアは同梱されません。プログラムは、専用サイトからのダウンロードとなります。
本製品は、インストールプログラムがダウンロードできない方向けです。

製品名	JAN	型番	標準価格
Vectorworks 2022 インストールメディア (USB)	4513825012838	P27001	4,950円

スタンドアロン版 (永続ライセンス)

製品名	JAN	型番	標準価格
Vectorworks Design Suite 2022 スタンドアロン版	4513825012647	124207	612,700円
Vectorworks Architect 2022 スタンドアロン版	4513825012654	124204	490,600円
Vectorworks Landmark 2022 スタンドアロン版	4513825012661	124205	490,600円
Vectorworks Spotlight 2022 スタンドアロン版	4513825012678	124206	490,600円
Vectorworks Fundamentals 2022 スタンドアロン版	4513825012685	124203	368,500円

スタンドアロン版 (年間保守サポート Vectorworks Service Select がバンドル) ※申込書が必要です。

製品名	JAN	型番	標準価格
Vectorworks Design Suite 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select がバンドル)	4513825012692	C124207	655,600円
Vectorworks Architect 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select がバンドル)	4513825012708	C124204	524,700円
Vectorworks Landmark 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select がバンドル)	4513825012715	C124205	524,700円
Vectorworks Spotlight 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select がバンドル)	4513825012722	C124206	524,700円
Vectorworks Fundamentals 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Service Select がバンドル)	4513825012739	C124203	413,600円

他社からの乗換版 (年間保守サポート Vectorworks Service Select がバンドル) ※申込書が必要です。

製品名	JAN	型番	標準価格
Vectorworks Architect 2022 スタンドアロン版 乗換版	4513825012746	BC124204	451,000円
Vectorworks Landmark 2022 スタンドアロン版 乗換版	4513825012753	BC124205	451,000円
Vectorworks Spotlight 2022 スタンドアロン版 乗換版	4513825012760	BC124206	451,000円

スタンドアロン版モジュール ※申込書が必要です。

製品名	型番	標準価格
Architect モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2022への追加用)	VRAR27	122,100円
Landmark モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2022への追加用)	VRLR27	122,100円
Spotlight モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2022への追加用)	VRSR27	122,100円
Design Suite モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Fundamentals 2022への追加用)	VRCR27	244,200円
Design Suite モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Architect 2022への追加用)	ARCR27	122,100円
Design Suite モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Landmark 2022への追加用)	LRCR27	122,100円
Design Suite モジュール 2022 スタンドアロン版 (Vectorworks Spotlight 2022への追加用)	SRCR27	122,100円

ネットワーク版 ※申込書が必要です。

製品名	型番	標準価格
Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 基本パッケージ (5ライセンス同梱)	N270000	1,842,500円
Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計1-5ライセンス単価)	N270001	368,500円
Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計6-10ライセンス単価)	N270002	332,200円
Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計11-20ライセンス単価)	N270003	288,200円
Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計21-30ライセンス単価)	N270004	261,800円
Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計31-40ライセンス単価)	N270005	244,200円
Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計41-50ライセンス単価)	N270006	226,600円
Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計51-200ライセンス単価)	N270007	218,900円
Vectorworks Fundamentals 2022 ネットワーク版 追加ライセンス (合計201ライセンス以上単価)	N270008	213,400円
Design Suite モジュール 2022 ネットワーク版	N270009	244,200円
Architect モジュール 2022 ネットワーク版	N270010	122,100円
Landmark モジュール 2022 ネットワーク版	N270011	122,100円
Spotlight モジュール 2022 ネットワーク版	N270012	122,100円

年間保守サービス契約 Vectorworks Service Select 契約 ※申込書が必要です。

製品名	Service Select 新規1年		Service Select 更新1年	
	型番	標準価格	型番	標準価格
Vectorworks Service Select Design Suite スタンドアロン版	CR2712	134,200円	CR27R03	134,200円
Vectorworks Service Select Architect スタンドアロン版	AR2712	107,800円	AR27R03	107,800円
Vectorworks Service Select Landmark スタンドアロン版	LR2712	107,800円	LR27R03	107,800円
Vectorworks Service Select Spotlight スタンドアロン版	SR2712	107,800円	SR27R03	107,800円
Vectorworks Service Select Fundamentals スタンドアロン版	VR2712	81,400円	VR27R03	81,400円
Vectorworks Service Select Fundamentals ネットワーク版	VR2712G	81,400円	VR27GR03	81,400円
Vectorworks Service Select Design Suite モジュール ネットワーク版	CR2712G	52,800円	CR27GR03	52,800円
Vectorworks Service Select Architect モジュール ネットワーク版	AR2712G	26,400円	AR27GR03	26,400円
Vectorworks Service Select Landmark モジュール ネットワーク版	LR2712G	26,400円	LR27GR03	26,400円
Vectorworks Service Select Spotlight モジュール ネットワーク版	SR2712G	26,400円	SR27GR03	26,400円
遡り更新手数料 (更新期限を過ぎた場合)			P23002	22,000円

サブスクリプションライセンス ※申込書が必要です。

製品名	型番	標準価格
Vectorworks Design Suite サブスクリプション (1年間)	SUBD27	306,350円
Vectorworks Architect サブスクリプション (1年間)	SUBA27	245,300円
Vectorworks Landmark サブスクリプション (1年間)	SUBL27	245,300円
Vectorworks Spotlight サブスクリプション (1年間)	SUBS27	245,300円